

# 教 育 研 究 業 績

2019年5月1日

氏名 周 建中

学位: 博士 (農学)

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
言語学、地理学、農業工学、教育法	達成感と意欲の向上、日中通訳法、中国語教授法、環境問題・生物環境（自然と社会科学の両面から見た沙漠化問題）、自然・人文地理、教育社会問題、	
主要担当授業科目	中国語通訳、中国語コミュニケーション、東アジアの自然・人文地理、中国社会文化論、中国語（共通領域）、アジア人文地誌、アジア文化論、	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
<p>1 教育方法の実践例</p> <p>① 私の中→日、日→中口頭対訳トレーニング中国語教育法 —中国語会話・読解能力養成教育法の試み 「中国語教育学会第5回全国大会」にて発表</p> <p>② 達成感を味わってもらうことによって学生の学ぶ意欲を引き出す試み 2013年2月7日の大学授業改善(FD)委員会セミナーで②同題目の内容を発表</p> <p>③ 東京成徳大学研究紀要 一人文学部・応用心理学部—第 21 号 2014年. 3月 15 日、 「達成感を味わってもらうことによって学生の学ぶ意欲を引き出す試み」が掲載</p> <p>④ 東京成徳大学研究紀要 一人文学部・応用心理学部—第 22 号 2015年. 3月 15 日、 「達成感と、自信・興味・意欲の向上を重視した中国語授業の試み—私の拼音スリーステップ教授法と中日双方向通訳・会話式指導法—」</p> <p>⑤ 「練習問題の正解合わせ・小テストと資格模擬テストの実施などに</p>	<p>平成 19 年 5 月 13 日</p> <p>平成 25 年 2 月 7 日</p> <p>平成 26 年 3 月 15 日</p> <p>平成 27 年 3 月 15 日</p> <p>2016 年 6 月 5 日</p>	<p>きれいな発音と、漢字だけで音読、日中双方向翻訳と通訳、そして会話ができる達成感の喜びを実感できる指導・トレーニング法である。 担当する中国語会話・コミュニケーション授業・サークルなどで実践応用し、学生のスキルアップと検定試験資格取得に寄与した。 その心得をまとめて学会で報告して検討に付した。</p> <p>1.中国語コミュニケーション・中国語通訳の授業では学生に達成感を味わってもらうために、— 私の日中双方向通訳、中国語会話能力育成指導法について試みて実績をあげた。 2、文化・教養科目授業で学生に達成感を味わってもらい、学生のコミュニケーション能力の向上を図るために、発表などを指導・奨励して、学生の、学生による、学生のための授業という、学生に授業の運営に参加してもらう試みをして来て評価された。</p> <p>うまくできた、認められた、資格取得や奨励などで成長を実感できたなど、学生に目標を成し遂げた達成感、自己実現の喜びを味わってもらうことによって、学生の学ぶ意欲を高め、潜在能力を引き出せると考える。</p> <p>前号にも書いたが、人間は目標を達成した喜びを味わいたい、周りや社会に人物、能力や成績などを認めてもらいたい欲求がある。人々はどんな仕事や学習に従事しても、興味と意欲が進展と成果を出す重要要素の一つ。目的達成・目標実現した時は達成感を味わって、更に仕事や学習に自信、興味、意欲を持って、もっと努力して成果を上げるに繋がる。題名の教授法と三段階指導法に生かした方法と心得をまとめた。</p> <p>中国語教育学会第 14 回全国大会発表要旨集（日本大学）</p>

<p>よる達成感と自信・意欲を向上させる 試み」</p> <p>⑥東京成徳大学研究紀要－人文学部・応用心理学部－ 第26号 No. 26, 2019. 3. 15 「達成感と意欲の持続・向上を重視した中国語効果的教授法と習得法－中国語の醍醐味に基づく区切り法、達成度目安法、流暢音読法－」（査読あり） An Effective Teaching Method and Acquisition Method for Learning Chinese that Emphasizes Sustained and Improved Achievement and Motivation －A method for gaining a sense of the way Chinese is really used by teaching how to divide up sentences, how to maintain a sense of achievement and continued motivation, and how to read fluently－ ZHOU Jianzhong</p>	<p>2019年3月15日</p>	<p>これまでの1)自信、興味と意欲を重視した発音を覚えてもらうスリーステップトレーニング法、2)中日双方向通訳と会話式三段階トレーニング指導法に続いて、3)達成感（満足感、快感、幸福感）と意欲の持続・向上を重視した中国語効果的教授法と習得法として、中国語の醍醐味（特色特徴）に基づく①文をまず単語・熟語ごとに区切って直訳し、それから説明・意識して音読練習する区切り法、②達成度確認目安法、③会話と双方向通訳とリスニングができるための流暢音読法についてまとめた。</p>
<p>2 作成した教科書・教材</p> <p>1. 共著書：幼児教育リレーンクス（再掲）</p> <p>2. 共著書：『現代中国政治概論－そのダイナミズムと内包する課題』（再掲）</p> <p>3. 「中国百科」検定公式テキスト、日本中国友好協会（編集）（再掲）</p>	<p>平成15年4月</p> <p>平成27年3月</p> <p>平成29年11月</p>	<p>共著：深谷昌志・中田カヨ子編著、4部2章「中国の一人っ子政策と教育」を分担執筆、中国の人口増加抑制政策の由来・中身・現状と一人っ子を取り巻く教育の現状と問題点及び、日中比較もかねて述べた。 執筆 pp.147-160、北大路書房</p> <p>「第13章 中国の環境問題と対策」、明石書店 中国の環境担当部署・組織機構・関連法令、関連地理環境の特徴、大気汚染の現状と対策についてまとめた。</p> <p>増補分「中国四大発明」を執筆、めこん出版、 「中国四大発明」はそれぞれ何時発明され、その原理概要、中国および世界の歴史発展に与えた影響についてまとめた。 その他の中国古代の世界的発明についても紹介した。</p>
<p>3 教育上の能力に関する大学等の評価</p>		
<p>4 実務の経験を有する者についての特記事項</p>		<p>昭和60年6月、中国内モンゴル自治区科学技術委員会の職稱評定委員会より「中級科学技術翻訳（通訳）」を授与される。 中日オールドスカシミア工場拡張工事通訳、中国科学技術委員会主催日立コンピューター実習団通訳、中日毛烏素沙漠緑化研究プロジェクト通訳、来日視察団通訳など多数実務経験。</p>
<p>5 その他（講座・講演）</p> <p>①鳥取県作物育種研究会にて「中国農業の現状と将来」を題して講演</p> <p>②鳥取県立図書館・講座「中国・現代をよむ」（計5回）を担当した。</p>	<p>平成5年6月</p> <p>平成9年度</p>	<p>中国農業の概要、生産量の変遷と将来展望について。</p> <p>それぞれ中国の①人口と食糧、②教育、③結婚と家庭内外男女役割、④少数民族と宗教、⑤経済情勢と国民生活の現状と問題について講演した。</p>

③鳥取県立図書館・講座「中国東北部の少数民族」(計5回)を担当した。	平成12年度	①中国民族の由来と現状の概要、②中国東北部に住むモンゴル族、③満州族、④回族、⑤朝鮮族とその他の少数民族の歴史と現状について講演した。
④千葉県生涯学習フェスティバル協賛事業・東京成徳大学公開講座「伝統文化と異文化理解」第3回「中国少数民族の歴史と現状について」(in 八千代台東南公共センター)	平成13年10月6日	多民族国家中国の歴史を見れば、人口の多少にかかわらず、いろんな民族が支配王朝を樹立していた。中国の歴史と文化は各民族が共に創ったものである。現在は民族自治制度が施行されている。その歴史と現状について講演した。
⑤東京成徳大学大学院平成15年度第5回公開講座パネルⅡ「アジアの学校と子供たち」	平成15年11月22日	中国の学校と子供たちの現状と問題点についてお話をし、質問解答をした。
⑥千葉県小見川町「日中文化交流の歴史と現状」	平成17年11月	日中文化交流の歴史と現状を概説し、現在の特徴と問題点についてお話をした。
⑦千葉県生涯学習フェスティバル協賛事業・東京成徳大学人文学部公開講座「ふれあいと相互理解」第4回「すぐに覚えて楽しめる中国語」(in 八千代台東南公共センター)	平成19年10月13日	中国語も日本語も漢字を使う。文字なら意味の多くは通じる。例えば「我喫飯」、「我来日本留学」など。発音は異なるが、中国語はほとんど同一漢字に一つの発音しかない。発音さえ身につけたらあなたの中国語は相当なものになる。これら中国の言語の概要、中国語の特徴について述べ、実例を挙げて説明し、中国語のレッスンも行った。
⑧東京成徳大学公開講座「中国異なる地域と各民族の食文化」in 千葉県八千代市総合生涯学習プラザ	平成20年9月27日	中国は国土が広く、自然が多様で、多民族国家であるため、食文化も様々である。こうした中国食文化を概説し、内蒙古における漢民族と少数民族の食文化について紹介した。
⑨外務省中国課主催中国民族問題勉強会にて「チベット自治区の歴史と帰属問題」について講演	平成21年5月13日	チベット自治区の地理・歴史・帰属問題について、清朝時代を中心に、主に中国の資料を用いて調べた結果を報告した。
⑩出前授業「中国の食文化について」in 千葉県麗澤高校(業者主催)	2010年10月7日	種類、分布と形成の気候的要因について説明した。
⑪中国少数民族の歴史と文化 チベット自治区とチベット仏教の歴史と現状について	2011年2月19日	千葉県八千代市「ネットワーク30」主催講演会。 In 八千代市東南公共センター チベット自治区の地理・社会の概要、歴代王朝時代の文献・地図を用いて、元朝からチベット(西藏)はずっと中国版図の一部であり、チベット仏教は中央政府の保護のもとで発展したことを説明した。
⑫「食文化を通じた日中の文化の違い」について	2012年7月20日	八千代市ふれあい大学24期OB会主催 in 八千代市総合生涯学習プラザ 日中の気候など自然環境と食文化の違いを中心に、これらを比較しながら多方面のお話をした。
⑬「中国における沙漠化とその対策の現状」公開講座 市民開放	2012年7月21日	千葉県印西市小林公民館『小林カレッジ』 中国における沙漠、沙漠化問題及びその対策の現状について概説。
⑭東京成徳大学23年度公開講座(一)	2011年9月24日	中国の沙漠化問題及びその対策の現状について概説。

<p>般) 中国における沙漠化と沙漠化対策の現状について</p> <p>⑮中国チベット自治区の自然と社会現状</p> <p>⑯第1回:「中国における大気汚染、水質悪化等問題の現状と対策」</p> <p>⑰同第2回:「中国における沙漠化問題の歴史と対策の現状」</p> <p>⑱「すぐに覚えて楽しめる中国語」と題して講演</p> <p>⑲「中国の環境問題と対策を考える」四回連続講座同第3回:「気候変動、異常気象と中国政府の取り組み・対策」</p> <p>⑳同第4回:「中国の自然エネルギー利用事情、原発政策・対策」</p> <p>21. 「アジアの食文化交流—その歴史と現状について」</p> <p>22. 「中国四大発明とその他の発明」 ”</p>	<p>2012年12月1日</p> <p>2015年11月21日</p> <p>2016年1月23日</p> <p>2016年2月28日</p> <p>2016年3月12日</p> <p>2016年5月28日</p> <p>2017年7月21日</p> <p>2019年2月10日 2019年2月11日</p>	<p>in千葉県八千代市総合生涯学習プラザ</p> <p>東京成徳大学八千代キャンパス第七回一般公開講座(八千代市後援) in 八千代市東南公共センター チベット自治区の特色あふれる自然環境と人口・宗教寺院・教育・経済など社会生活現状についてお話をした。</p> <p>日中友好協会千葉県東葛飾支部主催、松戸市女性センター 「中国の環境問題と対策を考える」4回連続講座第1回</p> <p>同上第2回</p> <p>東京都北区立中央公園センター-KITA オリパラプロジェクト 「知れば知るほどおもしろい! 楽しく学ぶ世界の言葉」第4回、中国語の特徴、日本語・英語との比較、効果的教育と学習法について</p> <p>日中友好協会千葉県東葛飾支部主催、松戸市女性センター 「中国の環境問題と対策を考える」4回連続講座第3回</p> <p>同上第4回</p> <p>千葉八千代キャンパス2017年度一般公開講座(第2回)として東アジア中心に周辺市民対象にタイトルの講演をした。</p> <p>船橋東部公民館、日中友好協会千葉支部主催。 千葉県松戸市女性センター、日中友好協会東葛飾支部主催。 紙(製紙術)、彫刻版・活字印刷術、羅針盤、火薬など中国88の古代発明創造について講座を行った。</p>
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 資格、免許	昭和60年6月	中国内蒙古自治区科学技術委員会より中級科学技術翻訳(通訳)の職称を授与される。
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		<p>①1980年中国内蒙古農牧大学で日本語の授業を担当した。2001年3月本学に転職までの1990年代は島根大学・鳥取大学で中国語非常勤講師、鳥取女子短期大学講師と同大学北東アジア文化総合研究所研究員を務めた。</p> <p>②日本沙漠学会評議員(2013.3まで)・編集委員会委員</p>

<p>4. その他 (共同研究参加) 文部科学省科学研究費・基盤研究(B) 課題番号・17300231 「育児不安の構造に関する国際比較研究」研究分担者 (研究代表者：深谷昌志)、</p> <p>日本学術振興会 (JSPS) と中国科学院との拠点大学方式による学術交流 (乾燥地研究分野) 事業、研究テーマ「中国内陸部の砂漠化防止及び開発利用に関する研究」の日本側拠点大学 (鳥取大学) の協力大学参加研究者</p> <p>中国寧夏大学の学長より学術顧問証書を拝受</p> <p>鳥根大学・寧夏大学国際共同研究所 研究員</p> <p>平成 22 年度拠点大学鳥取大学 ALRC 共同研究に参加し、報告書提出</p> <p>5. その他 (論文の引用される状況) 学術論文「中国内蒙古自治区における牧畜業の変遷」</p>	<p>平成 14 年度～</p> <p>平成 15 年度～</p> <p>平成 17 年 10 月</p> <p>平成 17 年 10 月</p> <p>平成 23 年 3 月</p> <p>平成 7 年 12 月以降</p>	<p>国際比較のための中国山東省青島市 (2002. 9)、内蒙古自治区フフホト市 (2002. 12)、天津市における (2006. 6) アンケート調査、現地交流・聞き込み調査担当。その結果は東京成徳短期大学幼児教育年報、「育児不安の構造に関する国際比較研究」(中間報告)、学会共同研究発表、共著に利用された。</p> <p>第 1 研究グループ (日本側代表者：神近牧男・鳥取大学乾燥地研究センター・教授)、研究課題名「砂漠化の過程と影響の解明」に参加。中国側拠点大学である中国科学院水土保持研究所及び西北農林科学技術大学と、調査研究対象地域である中国黄土高原地帯への視察・実地調査、両方での合同セミナーに参加、発表した。</p> <p>共同研究、学生留学・研修教育。</p> <p>中国北西部にある寧夏回族自治区の自然環境、農村社会・経済を対象に共同研究を行う。</p> <p>平成 22 年度鳥大共同研究課題： 中国「退耕還林・退牧還草」政策実施の効果と問題点について — 黄土高原地域を中心に 現地調査・交流報告書(2011. 2. 21～3. 4)</p> <p>同じ日本沙漠学会誌「沙漠研究」に掲載の論文でわりと多くの研究者に引用されているようである。</p>
--	---	--

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. 幼児教育「デイングズ」 (再掲)	共著	平成 15 年 4 月	北大路書房	共著：深谷昌志・中田カヨ子編著、4 部 2 章「中国の一人っ子政策と教育」を分担執筆。 中国の人口増加抑制政策の由来・中身・現状と一人っ子を取り巻く教育の現状と問題点及び、日中比較もかねて述べた。執筆 pp. 147-160
2. 育児不安の国際比較	共著	平成 20 年 5 月	学文社	共著：深谷昌志編、開原久代、周建中、深谷和子、三枝恵子、富山尚子、馬場康弘、深谷野亜、朴珠鉉 第 3 章第 2 節「一人っ子政策化の育児」を分担執筆、中国における一人っ子人口の現状と今後展望、幼児教育システムと運営形態、家庭の育児形態、一人っ子教育と育児の問題点、今後方向についてまとめた。執筆 pp. 143-158
3. 「沙漠の事典」	共著	平成 21 年 2 月	丸善出版社	日本沙漠学会編、「中国の沙漠」部分

4. 「アフタースクール—放課後の子どもたちの居場所のいま」(査読あり)	共著	平成21年2月	金子書房《児童心理》 2009年2月号、臨時増刊 N0891	を担当。  日本子ども社会学会の企画する【特集】の一部分として、「中国の子どもの放課後—少年宮など校外教育機構の現状について」と題して、中国での基本的状況について述べた。P137~142.
5. 『現代中国政治概論—そのダイナミズムと内包する課題』(再掲)	共著	平成27年3月	明石書店	「第13章 中国の環境問題と対策」、中国の環境担当部署・組織機構・関連法令、関連地理環境の特徴、大気汚染の現状と対策についてまとめた。
6. 「中国百科」検定公式テキスト、日本中国友好協会(編集)(再掲)	共著	平成29年11月	めこん出版	増補分「中国四大発明」を執筆。 「中国四大発明」はそれぞれ何時発明され、その原理概要、中国および世界の歴史発展に与えた影響についてまとめた。その他の中国古代の世界的発明についても紹介した。
(学術論文)				
1. 筑後モデルを用いた農業生産力の気候学的評価—中国内蒙古を事例として—	共著	平成7年3月	日本農業気象学会誌 「農業気象」 51(1):21-26, 1995	内蒙古の実測データを用いた分析の結果、筑後モデルによる自然植生の純一次生産力NPPは、天然草地の生産力・灌漑率の低い耕地と高い耕地における食糧生産力と線形関係にあり、相関関係も高いことを明らかにした。 これらの生産力を求めるモデルを出した。 共著：周建中・大槻恭一・神近牧男 大槻・神近の指導により、周が執筆した。
2. 中国内蒙古自治区における牧畜業の変遷	共著	平成7年12月	日本沙漠学会誌 「沙漠研究」 5(1): 71-84, 1995	内蒙古草原牧畜業の変遷から、牧畜業の発展にとって、社会の安定と合理的な経済体制・政策が最も重要な要素であり、遊牧型草原牧畜業から定住定牧型牧畜業への変容は、市場経済のニーズに応え、沙漠化防止を目的とすることを論述した。 共著：周建中・大槻恭一・神近牧男 大槻・神近の指導により、周が執筆した。
3. 博士(農学)学位論文：中国内蒙古自治区における牧畜・農業生産力の気候	単著	平成8年3月	鳥取大学連合大学院 (国立国会図書館収蔵)	中国北・西部地域は乾燥・半乾燥地域に属し、人為的作用に対して脆弱であり、沙漠化が進行する可能性が非常に

学的研究				高い。
4. 中国内蒙古における気候特性と土地利用の関係	共著	平成8年6月	「日本砂丘学会誌」 43(1):7-15, 1996	<p>そこで、本研究では、中国北部にある内蒙古を事例とし、牧畜・農業が展開されている背景およびその構造の変遷を自然科学・社会科学の両面から考察し、これを踏まえて持続可能な牧畜・農業の生産力を気候学的に評価する方法について検討した。</p>
5. 朝鮮半島気候の特性および日本・本州島気候との比較	単著	平成11年3月	「北東アジア文化研究」 第9号:107-115. 鳥取女子短期大学 北東アジア文化研究所 研究誌	<p>半乾燥・乾燥地域における沙漠化防止並びに合理的農牧業開発の計画に役立てるために、内蒙古を対象に、気候の特性を分析し、放射乾燥度を用いて、気候区分と土地利用の関係を明らかにするとともに、筑後モデルを用いて牧畜・農業生産の潜在力について検討した。</p> <p>共著：周建中・山本太平・大槻恭一・神近牧男 山本・大槻・神近の指導により、周が執筆した。</p>
6. チベット自治区の歴史と帰属問題について (日本華人教授会議HPにも掲載され、読者数1番多い)	単著	平成20年10月	「北東アジア文化研究」第28号:pp69-87。(研究ノート)、鳥取短期大学北東アジア文化研究所研究誌	<p>朝鮮半島においては、年間と季節的気温と降水量の分布傾向は一致関係にあり、日本海側と黄海側には地形による気温と降水分布の違いが見られる。算出・区分した結果、大半は森林気候であった。同緯度の日本の本州島と比べて冬季には乾燥寒冷であるが、夏はほぼ同様に高温多湿であるという比較検討の結果が得られた。</p>
7. 「達成感を味わってもらうことによって学生の学ぶ意欲を引き出す試み」	単著	平成26年3月	東京成徳大学研究紀要 —人文学部・応用心理学部—第21号 No. 21, 2014. 3. 15	<p>チベット自治区の地理、歴史、中国との関係(独立国だったかどうか)、「チベット問題」とその由来について、主に中国の歴史地図文献、資料を調べて比較分析した。</p> <p>2013年2月7日の大学授業改善(FD)委員会セミナーでの当題目の発表内容をもとにまとめたものである。</p> <p>人間は自身の能力や個性を自己実現させたい欲求があり、目標を達成した喜びを味わいたい、周りや社会に人物、能力や成績などを認めてもらいたい欲求があると思う。それなら、学生に目標を成し遂げた達成感、認められた喜びを味わってもらうことができればと思った。</p>

<p>8. 東京成徳大学研究紀要 —人文学部・応用心理学部 —第22号 2015年3月15日、 「達成感と、自信・興味・ 意欲の向上を重視した中国 語授業の試み—私の拼音ス リーステップ教授法と中日 双方向通訳・会話式指導法 —」</p>	<p>単著</p>	<p>平成27年3月</p>	<p>東京成徳大学研究紀要 — 人文学部・応用心理 学部 — 第22号 No. 22, 2015. 3. 15</p>	<p>うまくできた、認められた、資格取 得や奨励などで成長を実感できたな ど、学生に目標を成し遂げた達成感、 自己実現の喜びを味わってもらうこと によって、学生の学ぶ意欲を高め、潜 在能力を引き出せると考える。</p> <p>人間は目標を達成した喜びを味わい たい、周りや社会に人物、能力や成績 などを認めてもらいたい欲求がある。 人々はどんな仕事や学習に従事して も、興味と意欲が進展と成果を出す重 要要素の一つ。目的を達成・目標を実 現した時は達成感を味わって、更に仕 事や学習に自信、興味、意欲を持ち、 もっと努力して成果を上げることにな る。題名の教授法と三段階指導法に生 かした方法と心得をまとめた。</p>
<p>9. 「達成感と意欲の持続・ 向上を重視した中国語効果 的教授法と習得法 —中国語の醍醐味に基づく 区切り法、達成度目安法、 流暢音読法—」(査読あり) An Effective Teaching Method and Acquisition Method for Learning Chinese that Emphasizes Sustained and Improved Achievement and Motiva- tion —A method for gaining a sense of the way Chinese is really used by teaching how to divide up senten- ces, how to maintain a sense of achievement and continued motivation, and how to read fluently— ZHOU Jianzhong</p>	<p>単著</p>	<p>2019年3月</p>	<p>東京成徳大学研究紀要 —人文学部・応用心理 学部— 第26号 No. 26, 2019. 3. 15</p>	<p>これまでの1)自信、興味と意欲を重 視した発音を覚えてもらうスリーステ ップトレーニング法、2)中日双方向通訳 と会話式三段階トレーニング指導法に 続いて、3)達成感(満足感、快感、幸福 感)と意欲の持続・向上を重視した中 国語効果的教授法と習得法として、中 国語の醍醐味(特色特徴)に基づく① 文をまず単語・熟語ごとに区切って直 訳し、それから説明・意識して音読練 習する区切り法、②達成度確認目安法、 ③会話と双方向通訳とリスニングがで きるための流暢音読法についてまとめ た。</p>
<p>(その他) 1. 学会などでの研究発表 ①中国内蒙古の気候特性 と土地利用</p>	<p>共著</p>	<p>昭和64年11月</p>	<p>「日本農業気象学会」 中国・四国支部会誌 「中国・四国の農業気 象」第2号</p>	<p>共著者：周建中・松田昭美・神近牧男 松田・神近の指導により、周が執筆し た。</p>



②内蒙古を中心とした乾燥地における植物生産力の気候学的評価 (I)	共著	平成3年11月	同上 第4号	共著者：周建中・大槻恭一・神近牧男 大槻・神近の指導により、周が執筆した。
③同上 (II)	共著	平成4年12月	第5号	同上
④フィルムマルチによるチンゲンサイの節水栽培について	共著	平成4年7月	「日本農業気象学会」 '92年度全国大会等3学会合同大会要旨集	共著者：周建中・大槻恭一・神近牧男 大槻・神近の指導により、周が執筆した。
⑤内蒙古の気候特性と農業気候資源について —内蒙古乾燥地の気候と植物生産力に関する研究 (1) —	共著	平成5年4月	「日本農業気象学会」 '93年度全国大会等2学会合同学会要旨集	同上
⑥同上 (2)	共著	同上	同上	同上
⑦内蒙古の農業生産力	共著	平成5年11月	「日本モンゴロ学会」 '93秋季大会要旨集	内蒙古の自然環境と農業の概要、農業生産力の気候学的分析について述べた。 共著者：周建中・大槻恭一・神近牧男、大槻・神近の指導により、周が執筆した。
⑧乾燥地の気候指数と区分について	共著	平成2年11月	「日本農業気象学会」 中国・四国支部会誌 「中国・四国の農業気象」第3号	中国と世界主な乾燥地の気候指数と乾燥地区区分法についてまとめた。 共著者：周建中・神近牧男 神近の指導により、周が執筆した。
⑨イランと中国内蒙古における気候特性と植物生産力の比較	共著	平成8年11月	「日本農業気象学会」 1996年中国・四国支部会誌 「中国・四国の農業気象」第9号	イラン大半の地域は冬雨型で、内蒙古は夏雨型であり、内蒙古のNPPは夏に集中しているのに対して、イランのNPPは冬と春に多いのが対照的である。 内蒙古の方はNPPが多い。イランの気候は冬蒔き小麦、内蒙古の気候は春蒔き小麦の生産に適する。 共著者：周建中・大槻恭一・神近牧男・山本太平 大槻・神近・山本の指導により、周が執筆した。
⑩中国内蒙古農業の変遷 —農耕と牧畜の混合地域における農業—	共著	平成9年6月	日本沙漠学会 1997年第8回学術大会 1997年第8回学術大会 講演要旨集 第8集	内蒙古農業の歴史は古いが、近代大規模な開発は、人口の急増が要因の一つである。近代農業は経済制度などの変革に伴って、生産力なども大きく変化してきた。また、内蒙古における降雨依存農業降水量の分布は、年RDI、NPPの分布と一定の相関関係があることがわ

<p>⑪近年の中国内蒙古自治区の沙漠化とその社会的要因について</p>	<p>共著</p>	<p>平成14年6月</p>	<p>日本沙漠学会 2002年第13回学術大会 2002年第13回学術大会 講演要旨集 第13集</p>	<p>かった。 共著者：周建中・大槻恭一・神近牧男、 周が執筆した。</p> <p>近年、内蒙古自治区など中国北西部に沙漠化が進み、沙嵐が頻発して、牧畜業・農業だけでなく、交通や市民生活などにも深刻な影響を与えている。旱魃の多発など気候的要因は否めないが、住民の観念意識、市場経済、体制法制などの面にある社会的要因がより大きいと考えられる。</p> <p>共著者：周建中・神近牧男・山本大平・松田昭美、周が執筆した。</p>
<p>⑫中国内モンゴルの自然環境と人びとの暮らしについて</p>	<p>単</p>	<p>平成 15 年 7 月 6 日</p>	<p>第 2 回日本沙漠学会 沙漠誌分科会、 名古屋大学大学院文学研究科</p>	<p>内蒙古自然環境の概要と特徴、牧畜業・農業の概要と生産・生活方式、草地と農地における沙漠化問題と対策について発表して、熱烈な議論が行われた。</p>
<p>⑬沙漠化防止と支流流域の持続可能開発について —中国黄土高原西部 兆河流域の事例から</p>	<p>共著</p>	<p>平成 16 年 11 月 3 日</p>	<p>鳥取大学乾燥地研究センター</p>	<p>拠点交流事業日中共同セミナー、ポスター発表。 共著者：周建中・神近牧男・張興昌</p>
<p>⑭Economic Measures for the Prevention of Desertification of the Stock Raising Region in North China — Job Change, mmigration, Promotion of Importing Livestock Products Such as Mutton and Lamb, and Promotion of Chicken Consumption —</p>	<p>共著</p>	<p>2009.9.15</p>	<p>(CAS-JSPSCore ,University Program China- Japan, Open Seminar on Combating, Desertification and Development in Inland China of Year 2009, Yangling, Shaanxi Province, P.R.China )</p>	<p>ZHOU, J. 1and KIMURA,R.2 and KAMICHIKA,M.2, 1 Faculty of Humanities, Tokyo Seitoku University, 2Arid Land Research Center, TottoryUniversity</p>
<p>⑮中国内陸における沙漠化防止のための市場経済的措置 — 羊肉など畜産品の輸入などについて (日本華人教授会議 HP にも掲載され、読者多数)</p>	<p>共著</p>	<p>平成 22 年 5 月 30 日</p>	<p>日本沙漠学会第21回 日本沙漠学会学術大会、 いであ株式会社 国土環境研究所 講演要旨集 第21集</p>	<p>草原沙漠化要因の一つである過放牧への市場消費による圧力を緩和する経済的措置と伝統的遊牧文化を維持するための分析と提案をした。 共著者：周建中、木村玲二、神近牧男、山本大平、松田昭美、周が執筆した。</p>
<p>⑯「チベット自治区の生態環境と土地利用」</p>	<p>単</p>	<p>平成22年10月23日</p>	<p>日本華人教授会議第7回国際シンポジウム、 in 東京大学福武ホール</p>	<p>夏休み中の現地調査に基づき、チベット自治区の地理、土地利用と営農形態、生態環境と保全の状況について報告。</p>

<p>⑰中国における沙漠化と沙漠化対策の現状について Current status of anti-desertification and desertification in China</p>	<p>単</p>	<p>平成23年3月26日</p>	<p>日本沙漠学会第22回日本沙漠学会学術大会、講演要旨集 第22集</p>	<p>中国において、沙漠化を防止し、治めるために、緑化、退耕還林、退牧還草など、さまざまな対策が取られてきた。これら対策の内容と成果、そして問題点について検討した。</p>
<p>⑱鳥取大学 ALRC 一般研究 中国「退耕還林・退牧還草」政策実施の効果と問題点について— 黄土高原地域を中心に (23年度現地調査結果)</p>	<p>共著</p>	<p>平成23年11月22日</p>	<p>鳥取大学乾燥地研究センター鳥取大学共同研究発表会にて発表 ①発表要旨は要旨集に掲載 ②ポスター発表</p>	<p>中国における「退耕還林・退牧還草」プロジェクトの実施による沙漠化防止と生態環境改善の効果について、日本では意見が異なる。そこで、黄土高原におけるプロジェクトの実施による緑化の様子、黄沙抑制効果と砂嵐の発生頻度の変化、経済と住民生活の改善および問題点について、黄土高原を実地調査検証してきた。その結果をまとめた。</p>
<p>⑲第1セッション (13:30-15:00) 栄光が甦るシルクロード地域—甘肅省現地調査からの報告 ○自然・エネルギー環境と沙漠化対策について</p>	<p>単</p>	<p>平成25年11月2日</p>	<p>日本華人教授会議主催第10回国際シンポジウム (2013.11.2 於東京大学山上会館) テーマ:『中国の新シルクロード戦略と国際協力』</p>	<p>1. 甘肅省、河西回廊の自然環境 2. 農業など土地利用の特徴 3. 沙漠化の歴史と対策の現状 4. 鉱物、エネルギー資源について 5. 今後発展に関するいくつかの考え。 ○周建中 (東京成徳大学)、 金群 (早稲田大学)</p>
<p>⑳河西回廊地域の自然・土地利用と沙漠化対策への提言</p>	<p>単</p>	<p>平成26年5月31日</p>	<p>日本沙漠学会第25回学術大会、講演要旨集 第25集</p>	<p>中国甘肅省河西回廊などでの沙漠化防止と改善には節水措置と緑化技術も重要だが、合理的都市化・省外移民・外貨利用など経済・社会・人口政策措置を取ることが最も効果的だと考える。</p>
<p>21、「中国の環境問題を考える」連載 (第1回)「深刻な大気汚染、現状と対策」を掲載された。</p>	<p>単</p>	<p>2016年3月5日号1面</p>	<p>「日中友好新聞」(第三种郵便物認可)</p>	<p>中国における深刻な大気汚染と対策の現状を概説した。</p>
<p>22、「中国の環境問題と対策を考える」連載 (第2回)「沙漠化問題とその対策」</p>		<p>2016年4月5日号3面</p>	<p>同上</p>	<p>中国における沙漠化問題と対策の現状を概説した。</p>
<p>23、「中国の環境問題と対策を考える」連載 (第3回)「気候変動、異常気象と中国政府の対策」</p>		<p>2016年5月5日号3面</p>	<p>同上</p>	<p>世界、中国における異常気象と対策の現状を概説した。</p>

<p>24、「中国の環境問題と対策を考える」連載（第4回） 「中国の自然エネルギー利用事情、原発政策・対策」</p>		<p>2016年6月5日 日号3面</p>	<p>同上</p>	<p>中国の自然エネルギー利用事情、原発政策・対策の現状と展望を概説した。</p>
<p>25、「練習問題の正解合わせ・小テストと資格模擬テストの実施などによる達成感と自信・意欲を向上させる試み」(再掲)</p>		<p>2016年6月5日</p>	<p>中国語教育学会第14回 全国大会発表要旨集</p>	<p>第14回全国大会（2016年度）日本大学 文理学部</p>
<p><b>2. 調査・研究報告書</b> ①イランの気候特性と農業の関係について</p>	<p>共著</p>	<p>平成8年7月</p>	<p>日本学術振興会経費短期研究報告書</p>	<p>イランの気候は全体的に亜熱帯の大陸性乾燥気候に属し、大半の地域は地中海タイプの冬雨型であり、温帯大陸性乾燥気候の中国内モンゴは逆の夏雨型である。イランと内モンゴのNPPおよび降雨依存農業の季節分布は正反対である。 共著者：周建中・大槻恭一・神近牧男 山本太平 大槻・神近・山本の指導により、周が執筆した。</p>
<p>②韓国の気候特性と農業の概要</p>	<p>単著</p>	<p>平成10年11月</p>	<p>鳥取女子短期大学 北東アジア文化総合研究所 「調査研究報告書」</p>	<p>鳥取県国際交流財団助成研究2年目の1題目分担で、平成10年7月、調査団メンバーとして韓国江原道などを調査、資料の収集をして、韓国の気候特性と土地利用および、農業の概要をまとめた。</p>
<p><b>3. 翻訳</b> ①中国毛烏素沙漠開発研究センター概要（1） —試験地内の自然環境概要—</p>	<p>共訳</p>	<p>昭和63年</p>	<p>鳥取大学砂丘研究所 「砂丘研究」第35巻第1号</p>	<p>共同執筆者：周建中・松田昭美・神近牧男 松田・神近の指導により、周が執筆した。</p>
<p>②同上（2）—試験地内の植生分布について—</p>	<p>共</p>	<p>昭和64年</p>	<p>同上 第36巻第1号</p>	<p>共同執筆者：同上</p>
<p>③中国の少数民族と少数民族政策（1）、（2）</p>	<p>単</p>	<p>平成7年10月 平成8年2月</p>	<p>「北東アジア文化研究」 第2号:55-74, 第3号:83-103. 鳥取女子短期大学 北東アジア文化研究所研究誌</p>	<p>1979年、中華人民共和国成立30周年に際して、中国国家民族委員会、中央民族学院、中国社会科学院が共同でまとめ、民族出版社が出版した「中国の少数民族」と題した書物の一部分である。中国にいる55の少数民族の歴史と現状、そして中国政府の少数民族政策について述べた。（訳者注釈を付けた）</p>

④中国朝鮮族の歴史	単	平成9年3月	同上 第5号:57-68.	<p>※ 論説資料保存会（東京）中国関係論説資料第38号に収録された。</p> <p>中国東北地方で暮らす中国朝鮮族の歴史、文化、教育と経済などの状況を紹介した。 (著者同上、訳者注釈を付けた)</p>
⑤日本帝国主義の京図鉄道敷設の経済的構想について	単	平成10年3月	同上 第7号:77-95.	<p>中国東北地方の吉林省に1933年、日本帝国主義が投資して、「京（長春）図（図們）鉄道」を敷設した戦略的意図および、歴史的経緯を究明し、北東アジア国際交流と図們江地域開発に関連して、逆の立場から京図鉄道の機能を発揮させる意義を検討した。 (著者:孫春日、訳者注釈を付けた)</p>
⑥中国少数民族の楽器と舞踊	単	平成11年10月	同上 第10号:93-113.	<p>中国少数民族の楽器と舞踊の代表的なもの、その特色、歴史および、この分野における漢民族との交流についてまとめた。 (胡振華、穆淑惠編、訳者注釈を付けた)</p>
⑦中国歴史における亀文化の変遷	単	平成11年11月	鳥取女子短期大学研究紀要 第40号133-140.	<p>中国における亀崇拜の歴史は非常に長く、亀文化は政治、経済、軍事、宗教、地理、天文、医学および、人々の思想イデオロギー、社会風土などに大きな影響を与えた。しかし、元王朝時代に始まり、明王朝を経て、亀はひどいイメージ毀損を受けた。亀崇拜の歴史、変遷とその理由について論述した。 (著者:劉兆元、訳者注釈を付けた)</p>
⑧中国の少数民族政策とその実践 (1) (2)	単	平成12年3月	「北東アジア文化研究」 第11号:85-103. 第12号:74-113. 鳥取女子短期大学 北東アジア文化研究所 研究誌	<p>前訳した中国少数民族問題の内容より、20年間経った二十世紀末現在における中国少数民族の諸事情および、少数民族政策とその実施の諸現状について、中華人民共和国国務院新聞弁公室がまとめたものである。 (訳者注釈を付けた)</p> <p>※ 論説資料保存会（東京）中国関係論説資料第41号に収録されている。</p>